平成17年12月30日付け読売新聞投書欄の「気流」に掲載されましたのでご紹介します。

パソコンを覚え人生にときめき

小白硲　岡野　清

六年前脳梗塞を患い、その後遺症で右半身が不自由になりました。右利きだったので、最初は左手で字を書く練習をしましたが、どうにもよく出来ず、目が疲れてあきらめました。

しかし、三年前身体障害者向けデイサービスで、偶然、パソコン体験をしたのです。パソコンなんて出来るわけがないと思っていましたが、体験がきっかけでときめきを感じることができました。

左手でも簡単に打てるパソコン。今では、主に身体障害者のメル友が数十人できました。今年はボランティアのお骨折りもあって、ホームページを作り公開する事ができ

また、パソコンで絵を描けるようになったことも大きな収穫です。それに、インターネットで視野が広くなり、好きな音楽を楽しむことも覚えました。普段落ち込んでいる私にとって、今年はパソコンで人生が輝いたすばらしい年でした。

私のパソコン体験記

つくば市　金子　豊

私は今年65歳、中途失明の視覚障害者です。

10年ほど前に点字を覚えて、それ以来読み書きはすべて点字です。そんな私が今年の6月からパソコンの勉強を始めまして、最初はどうなる事かとハラハラして落ち着きませんでした・・・・。

最近は友達とのメールのやりとり、日記・住所録の作成、また10月にはパソコンで書いた文書をプリンターで印刷して20年ぶりに手紙を送る事ができました。まだ5通ですが、相手はビックリして大変喜んでくれました。

昨年の12月に視障協の行事で初心者向けのパソコン教室が開かれ、仲間達から誘われて渋々参加する事になったのですが、内心は私に出来るはずも無いし、覚えても何が出来るのか？それが解からない。

会場で初めてキーボードにふれて、ヤッパリこりゃー無理だわ・・・・、何しろボタンがビッシリ並んでいて何の目印も無い。それでもボタンを押すと音声で読み上げてくれる、これにはおどろいたね。研修は2日間で計12時間、文字の入力の仕方・メールを書いてから参加者同士での送受信・インターネットでホームページを見る、と書けば簡単だが、何しろ始めてやるのだから大変な騒ぎだ。

サポーターは「両手の親指は常にスペースキーの両側に置く事」と簡単に言うけど、その指が少しもジッとしていない。ましてや他の指はまったく言う事を聞いてくれないのだ。一つのキーを捜していると他の指は勝手に他のキーを押してしまう、いやはや困った事だ・・・。それでも時間があればａ・ｂ・ｃとアルファベットの位置をアチラコチラと捜して終了時にはａからｚまで覚えたような気がしたね。

今年の3月にまたパソコン教室があり、参加した。今年は自習時間が多かったのでアルファベットの位置を何度も確認する事が出来た。

最近物忘れがあるし、記憶力も落ちてきた。少し乾き始めた脳に刺激を与えるためにも、パソコンに挑戦してみるか・・・と言う事で友部のＩＴサポートセンターに自分のやってみたい事を話して相談に乗ってもらう。水戸の福祉事務所に周辺機器の補助の申請をする。（ご存知の事と思いますが、障害者がパソコンの周辺機器を購入する時に最高15万円の三分の二を補助して頂ける制度です）5月末にはノートパソコンと音声化用ソフト・文書読み上げ用ソフトメール用・住所録用と4種類のソフトの準備が出来ました。

（1）文字の入力について

さて、文字の入力は点字にするかひらがなを探すのは大変だし研修で習ったローマ字にする事にした。ローマ字は少しだけ点字の書き方に似ている。点字のあ・い・う・え・おに6の点でかきくけこ、5と6の点でさしすせそになる。ローマ字はあいうえおの前にｋをつけるとかきくけこに、ｓをつけるとさしすせそになる。そこで研修の時もａｉｕｅｏを間違いなく叩けるように何度も繰り返して練習していましたね。ですから自分のパソコンに初めて触れた時は、ある程度の文字は書くことが出来ましたが、特殊な文字や記号は覚えるまでに結構時間がかかりましたよ。何しろローマ字のスペルが思い出せない、もうひとつ困るのは漢字に変換する時です。音声で読み上げるだけですから良く聞いていないと同じ読み方の違う文字を書いてしまう。今でも漢字の誤字があると思います。まあ、これもご愛嬌と思っていますよ。

（2）初めてのメールを送受信する。

平成17年6月7日は、私にとって記念すべき日です。サポートセンターの紹介で2人のサポーターが見えた。二週間に一回二時間で費用は無料、お茶もお菓子も要ら